

令和3年度 中学部経営案

学校目標

18歳で自立できる人間を育てる

校訓

明るく 仲良く たくましく

経営の基本方針

- 1 児童生徒の障がい特性に対応した指導に努める。
- 2 人権尊重と組織的な対応に努める。
- 3 安心で安全な教育環境の整備に努める

中学部の教育目標

豊かな生活につながる 人との関わり・社会との関わりを広げるために

- 様々な経験をもとに、主体的に活動する意欲と態度を育てる。
- 生活自立をめざし、社会生活の基礎となる力を育てる。
- 人とのかかわり合いの中でコミュニケーション能力を育み、集団の中で仲間とともに協力し、かかわる力を育てる。
- 目標に向かって努力し、最後までやりきる力と態度を育てる。

中学部の教育方針

- 人権尊重を教育の基盤とし、生徒と教師の信頼関係を築き、生徒相互の人間関係を深める。
- 的確な実態把握に努め、個々の教育的ニーズ、障がい特性に応じた適切な指導・必要な支援を行う。
- 学校内、家庭、地域、外部機関との連携を密にし、指導及び支援の充実を図る。
- 地域・社会とのつながりを意識した学習活動の充実を図る。

本年度の努力点

- 生徒自身が考え、選択し、判断、表現できる学習活動や自己の学びがわかる評価方法を工夫し、主体的に学ぶ意欲を育てる。 **【主体的な学びを促す授業づくり】**
- 様々な経験を積み重ねる中で達成感や成就感を味わい自己肯定感の育成に努めるとともに、目標に向かって努力し最後までやり抜こうとする意欲と態度を育てる。 **【自己肯定感】【やり抜く力】**
- 生活自立、社会生活につながる基本的な生活習慣の確立や、基本的ルールやマナーの定着を図る。 **【基本的生活習慣】【ルール・マナー】**
- 様々な方法で自分の思いが伝えられる場を創意工夫し、人と関わる中で生徒のコミュニケーション能力、表現力の育成に努める。 **【コミュニケーション・表現力の育成】**
- 目標達成に向け、意欲的に生徒が運動に取り組む場を設定することで、生徒の健康や体力の増進に努める。 **【体力の向上】【姿勢保持】**
- 一人一人の実態把握に努め、障がい特性や個に応じた指導・支援方法をチームで検討し、共通理解して指導・支援にあたる。
- 報告・連絡・相談・確認の体制づくりに努め、情報の共有化を図り、問題に対する速やかな対応を心がけ、チームとして連携して指導にあたる。
- ICTを活用し、学習指導の充実や地域社会への発信の仕方を工夫する。